

伊集院保健所感染症情報

2025年第9週（令和7年2月24日～令和7年3月2日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第6週	第7週	第8週	第9週	先週からの増減	第8週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	0.80	0.80	2.00	0.60	↘	1.30	↘
COVID-19	—	—	—	2.80	5.20	2.00	4.00	↗	2.59	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	0.67	0.33	1.00	1.67	↗	1.08	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	2.33	2.67	3.67	3.00	↘	3.06	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	3.00	7.67	11.67	8.67	↘	14.80	↗
水痘	2	1	1	3.00	0.00	0.00	0.00	→	0.28	↗
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↘
突発性発しん	—	—	—	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.32	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.33	1.67	2.33	1.33	↘	1.32	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC HPV ワクチン接種（子宮頸がんワクチン）に関する 経過措置について

HPV ワクチンのキャッチアップ接種については、「2024 年第 52 週～2025 年第 1 週報」で掲載しましたが、接種可能な時期である3月末が近づいているため、再度お知らせします。

HPV ワクチンの積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方に対して、公平な接種機会を確保する観点から、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間で、従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行うこととしています。

HPV ワクチン接種は3回行う必要がありますが、昨年夏以降の需要の大幅な増加に伴うワクチンの限定出荷状況を踏まえ、キャッチアップ接種として今年3月の制度終了時までに1回以上接種をしている者については、期間終了後も公費で接種を完了できるよう、経過措置が設けられました。

また、定期接種対象者である平成20年度生まれの女子も、新たに経過措置の対象になりました。

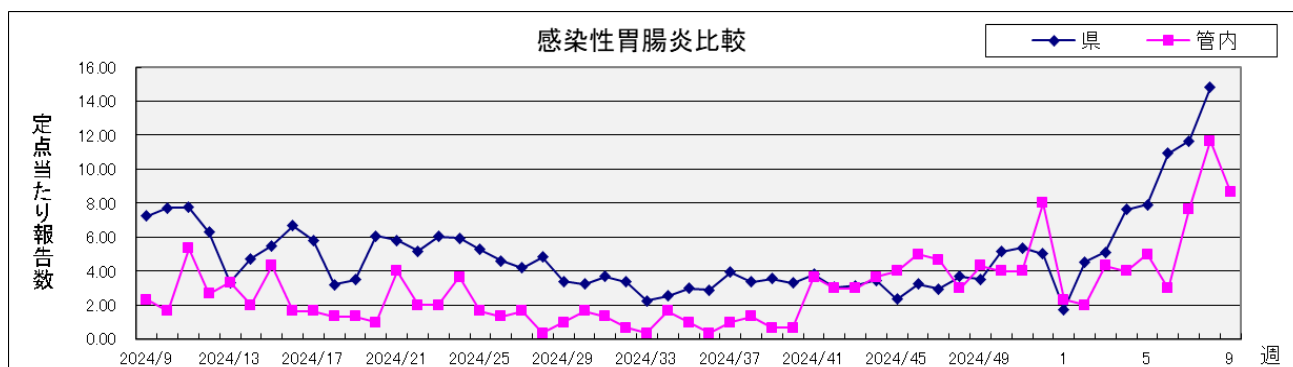
対象者：平成9～20年度生まれの女性の方

接種開始月：令和7年3月までに1回目の接種を開始する必要があります。

公費による HPV ワクチン接種期限（令和8年3月）まで。

● 注意すべき感染症

・感染性胃腸炎



第9週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の35人（定点当たり11.67）から9人少ない26人（定点当たり8.67）でした。年齢別では、20歳以上（8人）、1歳（6人）、2歳・3歳（各3人）、6ヶ月～11ヶ月（2人）、0～5ヶ月・4歳・6歳・15～19歳（各1人）の順に多い報告でした。

感染性胃腸炎とは、細菌やウイルスなどの病原体による感染症で、年間を通して流行します。

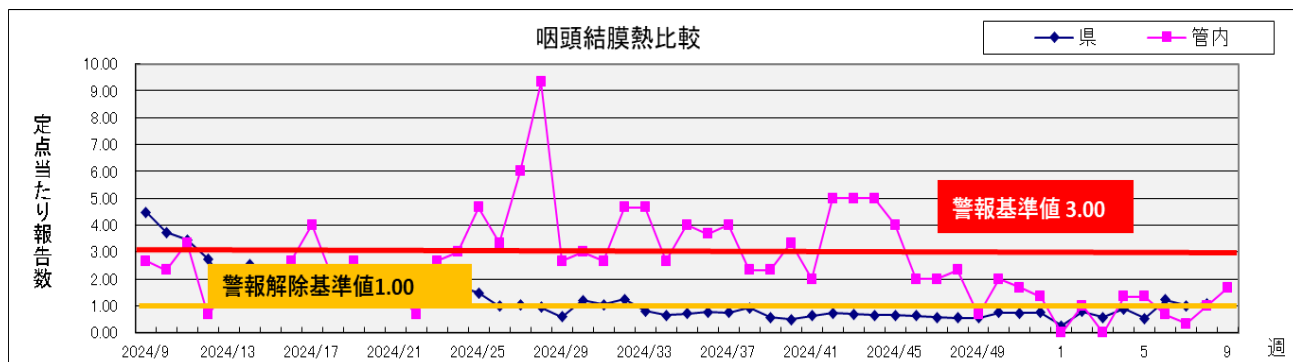
原因となる病原体には、ノロウイルス、ロタウイルスなどのウイルスのほか、細菌や寄生虫などもあります。

感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる感染（接触感染）、汚染された食品を食べることによる感染（経口感染）があります。潜伏期間は1～3日程度です。ノロウイルスによる胃腸炎では、主な症状は吐き気、おう吐、下痢、発熱、腹痛であり、有症期間は平均24～48時間です。

感染予防としては、トイレの後、調理、食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、ノロウイルス等の便やおう吐物を処理する時は、次亜塩素酸ナトリウム液を用い、手袋、マスク、エプロンを着用し、処理しましょう。なお、カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

・咽頭結膜熱



第9週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の3人（定点当たり1.00）から2人多い5人（定点当たり1.67）でした。年齢別では、1歳（3人）、6ヶ月～11ヶ月（2人）、でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。

感染予防対策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 2/24～3/2（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

第9週の出席停止については、インフルエンザ患者が2人（内訳：非型別インフルエンザが2人）、感染性胃腸炎が4人、溶連菌感染症1人、マイコプラズマ感染症2人、COVID-19が5人報告されています。

自治体名	疾患名				
	インフルエンザ	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナウイルス感染症
日置市	1	2	1	1	3
いちき串木野市	1	2	0	1	2
三島村	0	0	0	0	0
十島村	0	0	0	0	0
計	2	4	1	2	5